

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	人文科学 I	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日本の歴史を学ぶことで、日本と諸外国の関係に目を向け、多様な考え方を養う。</p> <p>【概要】 日本の歴史を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 日本の歴史についての知識を身に付ける。 2. 日本の歴史上の出来事を説明できる。 3. 学習を通じて、日本と国際関係の知識を得て、分析をできるようにする。</p>				
授業内容	回 01：鎌倉時代(鎌倉幕府成立～承久の乱) 02：鎌倉時代(執権政治～元寇) 03：室町時代(鎌倉幕府滅亡～室町幕府の組織) 04：室町時代(室町将軍) 05：戦国～安土・桃山時代(織豊政権) 06：江戸時代(江戸幕府の成立～武断政治) 07：江戸時代(鎖国～正徳の治) 08：江戸時代(享保の改革～寛政の改革) 09：江戸時代(天保の改革～桜田門外の変) 10：江戸～明治時代(薩長同盟～明治維新) 11：明治時代(自由民権運動～条約改正) 12：明治時代(日清戦争～日露戦争) 13：大正時代(第一次世界大戦～政党政治) 14：大正～昭和時代(昭和初期の経済) 15：昭和時代(太平洋戦争)	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 日本史				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	人文科学 II	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して世界の歴史を学ぶことにより、世界に対する知識や多様な考え方を養う</p> <p>【概要】 世界の歴史（特に西洋史）を学ぶ</p>				
到達目標	<p>世界の歴史のおおまかな流れを理解できる</p> <p>世界の歴史を通して各国の多様な考え方を理解できる</p> <p>各国の歴史やその考え方を理解し、現代社会の世界的な問題を捉える視点を養っている</p>				
授業内容	回 01：西洋史（古代ギリシア・ローマ） 02：西洋史（フランク王国・十字軍） 03：西洋史（中世ヨーロッパ諸国・ルネサンス） 04：西洋史（大航海時代・宗教改革） 05：西洋史（16～18世紀ヨーロッパ①絶対主義） 06：西洋史（16～18世紀ヨーロッパ②イギリス市民・アメリカ独立革命） 07：西洋史（16～18世紀ヨーロッパ③フランス革命） 08：西洋史（ナポレオン・産業革命） 09：西洋史（19世紀の欧米①ウィーン体制～ロシアの近代化） 10：西洋史（19世紀の欧米②アメリカ合衆国の発展～帝国主義） 11：西洋史（第一次世界大戦とロシア革命） 12：西洋史（ヴェルサイユ体制・アジアの民族運動） 13：西洋史（第二次世界大戦） 14：西洋史（第二次世界大戦後の世界①） 15：西洋史（第二次世界大戦後の世界②）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座 世界史				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	人文科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して世界の地形や気候、文化や生活様式などを学習し、国際社会に対応した考え方を養う。</p> <p>【概要】 世界の地形や気候、文化や生活様式を学習する。</p>				
到達目標	<p>世界の地形や気候 世界の資源や産業、世界の生活や知識、日本の国土や人口、産業について 世界の国々について（詳細）</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：世界の大地形、小地形</p> <p>02：特殊な地形と陸水、海洋について</p> <p>03：世界の気候①</p> <p>04：世界の気候②</p> <p>05：世界の植生、土壌、地図</p> <p>06：世界の農業、水産業</p> <p>07：世界の工業資源</p> <p>08：世界の工業</p> <p>09：世界の都市機構、人口</p> <p>10：日本の国土、人口、産業</p> <p>11：世界地誌（アジア）</p> <p>12：世界地誌（アフリカ、ヨーロッパ①）</p> <p>13：世界地誌（ヨーロッパ②）</p> <p>14：世界地誌（ロシア、北アメリカ）</p> <p>15：世界地誌（南アメリカ、オセアニア）</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 地理				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	社会科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して経済の仕組みを学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p>【概要】 世の中の経済活動について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>経済社会や経済史についての知識を身に付ける。 経済社会や経済史について説明ができる。 現代社会に関する基礎的な分析力を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：経済社会の変容と経済体制 02：現代の企業 03：市場メカニズム 04：市場の失敗 05：国民所得 06：経済成長と景気循環 07：通貨制度 08：金融政策 09：財政制度 10：財政政策 11：貿易と外国為替 12：日本経済①石油危機まで 13：日本経済②石油危機後 14：国際通貨・金融体制 15：地域的経済統合	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 経済				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	自然科学 I	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 細胞や遺伝子の仕組みを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>動物や植物についての知識を身に付ける。 生態系の成り立ちについて説明ができる。 科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：細胞と細胞膜のはたらき 02：染色体と細胞分裂 03：酵素・呼吸 04：同化作用・消化作用 05：生殖と発生 06：メンデルの法則 07：染色体と遺伝現象 08：遺伝子の本体と異変 09：神経系とそのはたらき 10：刺激の受容と反応 11：循環系・防御反応 12：肝臓・腎臓・ホルモン 13：動植物の調節 14：生物の集団 15：生物の進化と系統	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 生物				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	公務員総合演習Ⅲ	授業形態	演習	区分	必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	90	実務家		時間数	180
授業目的概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮		回 16：模擬試験⑯ 17：模擬試験⑰ 18：模擬試験⑱ 19：模擬試験⑲ 20：模擬試験⑳ 21：模擬試験㉑ 22：模擬試験㉒ 23：模擬試験㉓ 24：模擬試験㉔ 25：模擬試験㉕ 26：模擬試験㉖ 27：模擬試験㉗ 28：模擬試験㉘ 29：模擬試験㉙ 30：模擬試験㉚		
テキスト 参考文献					
成績基準					
準備学習の内容					

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	ビジネスマナー基礎演習	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 入社後に必要とされるマナーや仕事の進め方、電話応対等の実践的なスキルを身に付ける。</p> <p>【概要】 就職活動時におけるマナーや技能について、ロールプレイ形式により身に付ける。</p>				
到達目標	<p>社会人に必要なマナーを理解する。 立ち居振舞、正しい敬語を使うことができる。 基本的な電話応対スキルが身に付いている。</p>				
授業内容	回 01：職場のマナー 02：仕事の進め方 03：挨拶と敬語① 04：挨拶と敬語② 05：電話応対マナー 06：電話を取り次げない場合 1（不在・外出） 07：電話を取り次げない場合 2（休暇・出張） 08：電話を取り次げない場合 3（電話中） 09：電話を取り次げない場合 4（その他） 10：電話を取り次げない場合 5（伝言・メモの書き方） 11：電話の掛け方の基本 12：電話の受け方応用（道案内等） 13：電話応対のロールプレイ 1 14：電話応対のロールプレイ 2 15：電話応対のロールプレイ 3	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	大原学園「ビジネスマナー」、随時参考資料を配布する				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	テキストの内容確認をする。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	社会科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して政治の役割を学び、憲法を中心とした法律の基礎知識を習得する。</p> <p>【概要】 日本国憲法と政治との関わりを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>基本的人権の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>統治機構の権限・役割に関する基礎知識を身につける。</p> <p>学習を通じて国内政治や海外事情に関心を持つ。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：政治の基本概念、近代国家、国家形態の変遷</p> <p>02：国家論、行政国家の諸問題、権力分立論</p> <p>03：議院内閣制、大統領制、各国の政治制度</p> <p>04：政党と政党制、小選挙区制、大選挙区制</p> <p>05：比例代表制、日本の選挙制度、圧力団体、立法過程</p> <p>06：戦後日本政治史</p> <p>07：大日本帝国憲法と日本国憲法、三大原則、人権保障の歴史、人権の分類</p> <p>08：人権の享有主体、特別な法律関係、公共の福祉と国民の義務</p> <p>09：幸福追求権、新しい人権</p> <p>10：平等権</p> <p>11：自由権の意義、思想・良心の自由、信教の自由</p> <p>12：表現の自由、学問の自由</p> <p>13：経済的自由権</p> <p>14：前期まとめ（第1～5章）</p> <p>15：前期まとめ（第6～10章）</p>		<p>回</p> <p>16：人身の自由の意義、適正手続の保障、被疑者・被告人の権利</p> <p>17：拷問・残虐刑の禁止、黙秘権の保障</p> <p>18：社会権の成立、生存権、教育を受ける権利</p> <p>19：勤労の権利・労働基本権</p> <p>20：参政権、受益権</p> <p>21：憲法改正の手続、国会の地位と機構、二院制</p> <p>22：国会と議院の権能・議員の特権</p> <p>23：衆議院の優越、国会の種類・審議と表決</p> <p>24：内閣</p> <p>25：司法権の帰属、司法権の独立</p> <p>26：裁判所の機構と裁判のしくみ、裁判員制度</p> <p>27：違憲法令審査権、財政</p> <p>28：地方自治の意義、地方公共団体、首長と議会との関係</p> <p>29：住民の権利、地方自治の諸問題</p> <p>30：後期総まとめ</p>		
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座 政治				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	数的処理 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法及び計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>四則演算を理解する</p> <p>数的推理の整数分野を理解する</p> <p>数的推理の割合分野を理解する</p>				
授業内容	回 01：数と文字式の計算 02：方程式・不等式の計算 03：整数・計算パズル① 04：整数・計算パズル② 05：整数・計算パズル③ 06：整数・計算パズル④ 07：整数・計算パズル⑤ 08：整数・計算パズル⑥ 09：整数・計算パズル⑦ 10：整数・計算パズル⑧ 11：割合と比① 12：割合と比② 13：割合と比③ 14：割合と比④ 15：割合と比⑤	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	数的処理 II	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法及び計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の方程式分野を理解する</p> <p>数的推理の速さ分野を理解する</p> <p>数的推理の仕事算分野を理解する</p>				
授業内容	回 01：方程式・不等式① 02：方程式・不等式② 03：方程式・不等式③ 04：方程式・不等式④ 05：方程式・不等式⑤ 06：方程式・不等式⑥、速さ① 07：速さ② 08：速さ③ 09：速さ④ 10：速さ⑤ 11：速さ⑥、仕事算① 12：仕事算② 13：仕事算③ 14：仕事算④ 15：仕事算⑤	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	数的処理Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法及び確率論を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の場合の数分野を理解する</p> <p>数的推理の確率分野を理解する</p> <p>数的推理の方程式分野を深く理解する</p>				
授業内容	回 01：場合の数① 02：場合の数② 03：場合の数③ 04：場合の数④ 05：場合の数⑤ 06：確率① 07：確率② 08：確率③ 09：確率④ 10：確率⑤ 11：方程式・不等式分野応用① 12：方程式・不等式分野応用② 13：方程式・不等式分野応用③ 14：方程式・不等式分野応用④ 15：方程式・不等式分野応用⑤	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	数的処理Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法及び計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の整数分野を深く理解する</p> <p>数的推理の割合分野を深く理解する</p> <p>数的推理の速さ分野を深く理解する</p>				
授業内容	回		回		
	01：整数分野応用①		16：		
	02：整数分野応用②		17：		
	03：整数分野応用③		18：		
	04：整数分野応用④		19：		
	05：整数分野応用⑤		20：		
	06：割合と比応用①		21：		
	07：割合と比応用②		22：		
	08：割合と比応用③		23：		
	09：割合と比応用④		24：		
	10：速さ応用①		25：		
	11：速さ応用②		26：		
	12：速さ応用③		27：		
	13：速さ応用④		28：		
	14：速さ応用⑤		29：		
	15：速さ応用⑥		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科Ⅱ

行政法律科Ⅱ					
授業科目	数的処理Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法及び確率論を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の仕事算分野を深く理解する</p> <p>数的推理の場合の数分野を深く理解する</p> <p>数的推理の確率分野を深く理解する</p>				
授業内容	回		回		
	01：仕事算応用①		16：		
	02：仕事算応用②		17：		
	03：仕事算応用③		18：		
	04：仕事算応用④		19：		
	05：仕事算応用⑤		20：		
	06：仕事算応用⑥		21：		
	07：場合の数応用①		22：		
	08：場合の数応用②		23：		
	09：場合の数応用③		24：		
	10：場合の数応用④		25：		
	11：確率応用①		26：		
	12：確率応用②		27：		
	13：確率応用③		28：		
	14：確率応用④		29：		
	15：確率応用⑤		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	数的処理VI	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して与えられた情報を系統的に整理し、基礎的な問題解決能力と柔軟な思考力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の問題を解き、解法(基礎)を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>記号化させて問題を解くことができる。 作図をして問題を解くことができる 作表をして問題を解くことができる。</p>				
授業内容	回 01：論理①（基礎） 02：論理②（基礎） 03：論理③（基礎） 04：論理④（基礎） 05：論理⑤（基礎） 06：順序①（基礎） 07：順序②（基礎） 08：順序③（基礎） 09：順序④（基礎） 10：順序⑤（基礎） 11：位置・方位①（基礎） 12：位置・方位②（基礎） 13：位置・方位③（基礎） 14：位置・方位④（基礎） 15：暗号（基礎）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 数的処理 判断推理編、資格の大原 公務員講座 テキスト 数的処理 B I（判断推理）				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	数的処理Ⅶ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して柔軟な思考力と空間認知能力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の問題と空間把握の問題を解き解法（基礎）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>判断推理の文章問題を解くことができる。</p> <p>判断推理の図形問題を解くことができる。</p> <p>解法をしっかりと理解することができる。</p>				
授業内容	回 01：対応①（基礎） 02：対応②（基礎） 03：対応③（基礎） 04：対応④（基礎） 05：対応⑤（基礎） 06：試合①（基礎） 07：試合②（基礎） 08：試合③（基礎） 09：試合④（基礎） 10：試合⑤（基礎） 11：うその発言①（基礎） 12：うその発言②（基礎） 13：うその発言③（基礎） 14：折り紙・一筆書き（基礎） 15：平面図形（基礎）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原 公務員講座 数的処理 判断推理編と図形・資料解釈編、資格の大原 公務員講座 テキスト 数的処理 B I（判断推理）				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	数的処理Ⅷ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して与えられた情報を系統的に整理し、応用的な問題解決能力と柔軟な思考力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の問題を解き、解法(応用)を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>基礎的な解法を様々な問題に应用することができる。</p> <p>基礎的な知識を様々な問題に应用することができる。</p> <p>応用レベルの判断推理(文章題)の問題を解くことができる。</p>				
授業内容	回 01: 集合① 02: 集合② 03: 集合③ 04: 集合④ 05: 推理・手順① 06: 推理・手順② 07: 推理・手順③ 08: 論理 確認テスト 09: 集合 確認テスト 10: 順序 確認テスト 11: 対応 確認テスト 12: 位置・方位 確認テスト 13: 試合 確認テスト 14: うその発言 確認テスト 15: 推理・手順 確認テスト	回 16: 17: 18: 19: 20: 21: 22: 23: 24: 25: 26: 27: 28: 29: 30:			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 テキスト 数的処理 B I (判断推理)				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	学習した解法を復習すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	数的処理Ⅹ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して基礎的な空間認知能力を養い、平面幾何学の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 空間把握の問題を解き、解法（基礎）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>平面図形（二次元）を正しく把握する。 平面図形（三次元）を正しく理解する。 空間把握力を日常生活に活用する。</p>				
授業内容	回 01：軌跡① 02：軌跡② 03：軌跡③ 04：軌跡④、正多面体、展開図① 05：展開図② 06：展開図③ 07：展開図④ 08：サイコロ① 09：サイコロ②、見取図・投影図① 10：見取図・投影図② 11：立体の切断① 12：立体の切断② 13：立体の切断③ 14：回転体 15：まとめ 確認テスト	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 数的処理 図形・資料解釈編				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	数的処理 X	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力や資料を読み解く力を養う</p> <p>【概要】 基本的な幾何学及び統計学を学ぶ</p>				
到達目標	<p>幾何学（平面図形）を学ぶ</p> <p>幾何学（立体図形）を学ぶ</p> <p>統計学を学ぶ</p>				
授業内容	回		回		
	01：三平方の定理		16：		
	02：相似		17：		
	03：面積比①		18：		
	04：面積比②		19：		
	05：角度		20：		
	06：円		21：		
	07：その他の平面図形		22：		
	08：立体図形①		23：		
	09：立体図形②		24：		
	10：実数①		25：		
	11：実数②		26：		
	12：割合・指数		27：		
	13：対前年増加率①		28：		
	14：対前年増加率②		29：		
	15：その他の資料（三角図表・累積度数など）		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	応用判断推理	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 難易度の高いより実践的な問題に取り組み、公務員試験に対応できる力を身につける。</p> <p>【概要】 判断推理、空間把握の応用問題を解き、試験問題に対応できる力を養う</p>				
到達目標	<p>公務員試験レベルの文章題を解くことができる。</p> <p>公務員試験レベルの図形問題を解くことができる。</p> <p>解法を応用して、公務員試験レベルの問題に対応することができる。</p>				
授業内容	回 01：論理 02：順序 03：位置・方位 04：対応 05：勝ち負け 06：うその発言 07：暗号 08：推理・手順 09：集合 10：回転体と軌跡 11：平面構成 12：正多面体・展開図 13：立体構成 14：平面図形 応用確認テスト 15：空間図形 応用確認テスト	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原 実践問題集 数的処理 B I (判断推理) B II (図形)				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	これまで学習した授業の復習を行うこと。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	応用数的処理 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して総合的かつ実践的な数的処理力を養う</p> <p>【概要】 応用的な数的処理の問題を利用して高度な数的処理力を錬成する</p>				
到達目標	<p>応用的な判断推理を出題方法を知る</p> <p>応用的な判断推理の解法を習得する</p> <p>応用的な判断推理を発展的に理解する</p>				
授業内容	回 01：論理① 02：論理② 03：集合 04：順序① 05：順序② 06：対応① 07：対応② 08：位置 09：勝敗① 10：勝敗② 11：カード・ゲーム 12：うそつき 13：暗号 14：推理手順① 15：推理手順②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	応用数的処理 II	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して総合的かつ実践的な数的処理力を養う</p> <p>【概要】 応用的な数的処理の問題を利用して高度な数的処理力を錬成する</p>				
到達目標	<p>応用的な数的推理を出題方法を知る</p> <p>応用的な数的推理の解法を習得する</p> <p>応用的な数的推理を発展的に理解する</p>				
授業内容	回 01：方程式・過不足算 02：平均算・年齢算 03：約数倍数 04：余りの問題 05：不定方程式 06：数列 07：暦・覆面算 08：方陣・記数法 09：割合・比 10：売買算 11：濃度算 12：旅人算・通過算 13：流水算・時計算 14：仕事算 15：場合の数・確率	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	応用数的処理Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して総合的かつ実践的な数的処理力を養う</p> <p>【概要】 応用的な数的処理の問題を利用して高度な数的処理力を錬成する</p>				
到達目標	<p>応用的な空間把握を出題方法を知る</p> <p>応用的な空間把握の解法を習得する</p> <p>応用的な空間把握を発展的に理解する</p>				
授業内容	回 01：折り紙 02：軌跡① 03：軌跡② 04：正多面体 05：展開図① 06：展開図② 07：サイコロ 08：投影図① 09：投影図② 10：積み木 11：平面構成 12：一筆書き 13：切断① 14：切断② 15：回転体		回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：		
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	文章理解 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して長文読解問題の解き方を学び、論理的な思考力を養う。また世界や日本の哲学・思想を学び、幅広い視野を身につける。</p> <p>【概要】 長文読解問題の解法と世界と日本の哲学・思想を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>現代文の文法を理解する。 長文読解のための手法を身につける。 哲学者・思想家の思考や記述に関心を持つ。</p>				
授業内容	回 01：国語文法① 02：国語文法② 03：要旨把握① 04：要旨把握② 05：要旨把握③ 06：内容合致 07：文章整序① 08：文章整序② 09：空欄補充① 10：空欄補充② 11：ギリシアの思想 12：西洋近代思想 13：西洋現代思想 14：東洋思想、日本の思想① 15：日本の思想②、日本の近代思想	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 テキスト 文章理解				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	一般知識演習 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 一般知識の演習を通して公務員に必要な知識を習得する</p> <p>【概要】 一般知識の演習及び確認テストの実施</p>				
到達目標	<p>社会科学に関する知識を習得する</p> <p>人文科学に関する知識を習得する</p> <p>自然科学に関する知識を習得する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：社会科学①政治制度論</p> <p>02：社会科学②日本国憲法の特徴・基本的人権総論</p> <p>03：社会科学③幸福追求権・平等権・社会権・自由権</p> <p>04：社会科学④国会</p> <p>05：社会科学⑤内閣</p> <p>06：社会科学⑥現代の市場</p> <p>07：社会科学⑦国民所得</p> <p>08：社会科学⑧経済成長と景気循環</p> <p>09：社会科学⑨財政制度と財政政策</p> <p>10：社会科学⑩国際経済の動向</p> <p>11：人文科学①中国王朝史</p> <p>12：人文科学②中世・近代ヨーロッパ史</p> <p>13：人文科学③16～19世紀の欧米</p> <p>14：人文科学④帝国主義・戦後史</p> <p>15：人文科学⑤中世</p>		<p>回</p> <p>16：人文科学⑥近世</p> <p>17：人文科学⑦近代・現代</p> <p>18：人文科学⑧地形・気候</p> <p>19：人文科学⑨資源と産業</p> <p>20：人文科学⑩世界地誌</p> <p>21：自然科学①生体の構造</p> <p>22：自然科学②生体内の代謝</p> <p>23：自然科学③生殖と発生</p> <p>24：自然科学④遺伝と多様性</p> <p>25：自然科学⑤刺激・内部環境の恒常性と調節</p> <p>26：自然科学⑥地球の姿と動く大地</p> <p>27：自然科学⑦岩石</p> <p>28：自然科学⑧大気と海洋</p> <p>29：自然科学⑨太陽系と宇宙の構造</p> <p>30：自然科学⑩地球と人類</p>		
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座スタンダード問題集				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	一般知識演習 II	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して一般知識の詳細部分を学習することで理解を深める</p> <p>【概要】 一般知識科目の補足学習する</p>				
到達目標	<p>倫理の理解を深める</p> <p>日本史の理解を深める</p> <p>世界史の理解を深める</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：ギリシア思想</p> <p>02：西洋近代思想</p> <p>03：西洋現代思想</p> <p>04：東洋思想・日本思想</p> <p>05：日本思想</p> <p>06：飛鳥時代まで</p> <p>07：奈良時代</p> <p>08：平安時代</p> <p>09：戦後内閣①</p> <p>10：戦後内閣②</p> <p>11：世界史①殷～前漢</p> <p>12：世界史②新～隋</p> <p>13：世界史③唐～元</p> <p>14：世界史④明・清</p> <p>15：世界史⑤清末</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	一般知識演習Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して一般知識の詳細部分を学習することで理解を深める</p> <p>【概要】 一般知識科目の補足学習する</p>				
到達目標	<p>地理の理解を深める</p> <p>政治の理解を深める</p> <p>経済の理解を深める</p>				
授業内容	回 01：地形 02：気候植生土壌 03：東アジア・東南アジア・南アジア 04：西アジア・アフリカ・ヨーロッパ 05：ロシア・北アメリカ・南アジア・オセアニア 06：統治機構①国会 07：統治機構②内閣・裁判所 08：人権（自由権・社会権） 09：選挙・政党制 10：地方自治 11：経済①市場メカニズム 12：経済②金融政策 13：経済③財政政策 14：経済④戦後経済体制 15：経済⑤地域経済統合	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	一般知識演習IV	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して一般知識及び数的処理の詳細部分を学習することで理解を深める</p> <p>【概要】 一般知識科目及び数的処理の補足学習する</p>				
到達目標	<p>生物の理解を深める</p> <p>平面幾何の理解を深める</p> <p>資料解釈の理解を深める</p>				
授業内容	回		回		
	01：遺伝		16：		
	02：細胞膜と浸透減少		17：		
	03：酵素		18：		
	04：同化		19：		
	05：免疫		20：		
	06：三平方の定理		21：		
	07：相似		22：		
	08：面積比		23：		
	09：円		24：		
	10：立体		25：		
	11：資料解釈①実数		26：		
	12：資料解釈②割合		27：		
	13：資料解釈③指数		28：		
	14：資料解釈④増加率		29：		
	15：資料解釈⑤その他の資料		30：		
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	コミュニケーションスキル I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 面接に必要な基本的な力を身につける。</p> <p>【概要】 プレゼンやグループディスカッションを使って面接の基礎力を身につける。</p>				
到達目標	<p>面接力の向上。 自己分析ができる。 プレゼン力の向上</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：プレゼンテーションの説明 02：面接試験とは 03：面接基礎① 04：面接基礎② 05：面接基礎③ 06：面接基礎④ 07：朗読大会① 08：朗読大会② 09：新入生面接会フィードバック 10：プレゼンテーション基礎① 11：プレゼンテーション基礎② 12：プレゼンテーション基礎③ 13：プレゼンテーション基礎④ 14：プレゼンテーション基礎⑤ 15：自己PR作成①</p>		<p>回</p> <p>16：自己PR作成② 17：自己PR作成③ 18：自己PR作成④ 19：グループディスカッション① 20：グループディスカッション② 21：100の質問とその対応練習① 22：100の質問とその対応練習② 23：100の質問とその対応練習③ 24：商品説明① 25：商品説明② 26：プレゼンテーション応用① 27：プレゼンテーション応用② 28：プレゼンテーション応用③ 29：プレゼンテーション応用④ 30：プレゼンテーション応用⑤</p>		
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	特になし				

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	コミュニケーションスキルⅡ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 演習をを通して討論について学ぶ。エントリーシートの記入方法を身につける。</p> <p>【概要】 実際に討論を行い討論力を養う。公務員試験に向けてエントリーシートの記入方法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>討論力の向上 協調性と問題解決力を養う エントリーシートが記入できる</p>				
授業内容	回 01：公務員受験説明 02：YG 性格検査の実施 03：エントリーシートの記入① 04：エントリーシートの記入② 05：エントリーシートの記入③ 06：エントリーシートの記入④ 07：エントリーシートの記入⑤ 08：集団討論対策① 09：集団討論対策② 10：集団討論対策③ 11：集団討論対策④ 12：集団討論対策⑤ 13：集団討論対策⑥ 14：集団討論対策⑦ 15：集団討論対策⑧	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	特になし				

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	コミュニケーションスキルⅢ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 公務員試験に向けて面接・プレゼン対策を行い実践的な力を身につける</p> <p>【概要】 本番を想定した面接・プレゼン対策を実施する</p>				
到達目標	<p>公務員試験に対応できる面接力を身につける</p> <p>公務員試験に対応できるプレゼン力を身につける</p> <p>公務員試験にふさわしい品格を身につける</p>				
授業内容	回 01：身だしなみ・立ち居振る舞い 02：インタビュー形式面接練習① 03：インタビュー形式面接練習② 04：インタビュー形式面接練習③ 05：インタビュー形式面接練習④ 06：インタビュー形式面接練習⑤ 07：インタビュー形式面接練習⑥ 08：集団面接① 09：集団面接② 10：集団面接③ 11：集団面接④ 12：集団面接⑤ 13：集団面接⑥ 14：グループ時事プレゼン① 15：グループ時事プレゼン②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	特になし				

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	コミュニケーションスキルⅧ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 公務員に求められるコミュニケーション能力及び文書作成能力を育む。</p> <p>【概要】 面接練習や作文練習を通じてコミュニケーション能力や文書作成能力を養う。</p>				
到達目標	<p>基礎的なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>基礎的な文書作成能力を身につける。</p> <p>応用的なコミュニケーション能力及び文書作成能力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：3分間自己PR面接対策① 02：3分間自己PR面接対策② 03：プレゼンテーション面接対策① 04：プレゼンテーション面接対策② 05：Web面接対策① 06：Web面接対策② 07：コンピテンシー面接対策① 08：コンピテンシー面接対策② 09：受付面接対策① 10：受付面接対策② 11：自分自身に関わる作文作成 12：作文型論文（過去型）の作成 13：作文型論文（未来型）の作成 14：職業観に関わる作文作成 15：公務員の職務に関わる作文作成	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	効果測定				
準備学習の 内容	特に無し				

Syllabus

行政法律科Ⅱ

行政法律科Ⅱ					
授業科目	文章表現能力	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、作文の書き方の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 作文の基礎を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>作文の構成や原稿用紙の使い方について理解する。 まとめ表を活用し作文を書く際の素地を完成させる。 作文の書き方について理解する。</p>				
授業内容	回 01：作文の方針・構成・原稿用紙の使い方の説明 02：自身の経験を問う作文のまとめ表を作成 03：自身の経験を問う作文① 04：自身の経験を問う作文② 05：職能観を問う作文のまとめ表を作成 06：職能観を問う作文① 07：職能観を問う作文② 08：自身の経験を問う作文③ 09：職能観を問う作文③ 10：小論文の方針・構成の説明 11：小論文 12：国家対策作文① 13：自身の経験を問う作文④ 14：国家対策作文② 15：職能観を問う作文④	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 論作文対策				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	事前課題がある場合には、準備しておくこと				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	共同学習	授業形態	演習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	通年
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 共同学習を通して、学習内容の相互理解を深めると同時にコミュニケーションスキルを磨く</p> <p>【概要】 共同学習と確認試験の実施</p>				
到達目標	<p>数的推理の応用的問題を解くことができる</p> <p>判断推理の応用的問題を解くことができる</p> <p>コミュニケーションスキルを向上させる</p>				
授業内容	回 01：論理・対応① 02：場合の数① 03：論理・対応② 04：方程式・過不足算 05：論理・対応③ 06：整数・不定方程式 07：順序・勝敗① 08：平均算・年齢算 09：順序・勝敗② 10：余りの問題 11：順序・勝敗③ 12：場合の数② 13：うそつき・位置① 14：暦・方陣・記数法 15：うそつき・位置②	回 16：割合・比 17：暗号 18：売買算・濃度算 19：集合 20：速さ① 21：軌跡 22：速さ② 23：推理手順 24：仕事算 25：展開図・正多面体 26：給排水算 27：サイコロ・投影図 28：確率① 29：切断 30：確率②			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	公務員総合演習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 模擬試験及び作文演習を通して公務員に必要な教養や文章力を培う</p> <p>【概要】 模擬試験及び作文演習の実施</p>				
到達目標	<p>模擬試験により総合的な教養力を養う</p> <p>模擬試験により多角的な教養力を養う</p> <p>作文演習により文章力を養う</p>				
授業内容	回		回		
	01：模擬試験①		16：		
	02：模擬試験②		17：		
	03：模擬試験③		18：		
	04：模擬試験④		19：		
	05：模擬試験⑤		20：		
	06：模擬試験⑥		21：		
	07：作文の基本的な説明		22：		
	08：自分の経験を振りかえりまとめる作業		23：		
	09：原稿用紙の使い方について		24：		
	10：自分の経験にもとづく作文①（600字程度）		25：		
	11：自分の経験にもとづく作文②（800字程度）		26：		
	12：自分の経験にもとづく作文③（800字程度）		27：		
	13：自分の経験にもとづく作文④（1000字程度）		28：		
	14：作文をもとにしたスピーチ①		29：		
	15：作文をもとにしたスピーチ②		30：		
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	公務員総合演習Ⅱ	授業形態	演習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	60	実務家		時間数	120
授業目的概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮		回 16：模擬試験⑯ 17：模擬試験⑰ 18：模擬試験⑱ 19：模擬試験⑲ 20：模擬試験⑳ 21：模擬試験㉑ 22：模擬試験㉒ 23：模擬試験㉓ 24：模擬試験㉔ 25：模擬試験㉕ 26：模擬試験㉖ 27：模擬試験㉗ 28：模擬試験㉘ 29：模擬試験㉙ 30：模擬試験㉚		
テキスト 参考文献	資格の大原 答案練習問題				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	特に無し				

Syllabus

行政法律科Ⅱ

行政法律科Ⅱ					
授業科目		授業形態		区分	
担当		年次		時期	
授業回数		実務家		時間数	
授業目的概要	【目的】 【概要】				
到達目標					
授業内容	回 01：模擬試験 31 02：模擬試験 32 03：模擬試験 33 04：模擬試験 34 05：模擬試験 35 06：模擬試験 36 07：模擬試験 37 08：模擬試験 38 09：模擬試験 39 10：模擬試験 40 11：模擬試験 41 12：模擬試験 42 13：模擬試験 43 14：模擬試験 44 15：模擬試験 45	回 16：模擬試験 46 17：模擬試験 47 18：模擬試験 48 19：模擬試験 49 20：模擬試験 50 21：模擬試験 51 22：模擬試験 52 23：模擬試験 53 24：模擬試験 54 25：模擬試験 55 26：模擬試験 56 27：模擬試験 57 28：模擬試験 58 29：模擬試験 59 30：模擬試験 60			
テキスト 参考文献					
成績基準					
準備学習の内容					

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	総合学習Ⅰ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、社会人として必要な基礎力を養い、併せて公務員に関する知識を学習する</p> <p>【概要】 社会人の基礎力を体系的に学び、公務員の知識を多角的に学ぶ</p>				
到達目標	<p>自己管理能力、協調行動力、IT活用力、海外行動力の重要性を理解する。 自己管理能力検定・協調行動力検定・IT活用力検定・海外行動力検定に合格する。 求められる公務員像や公務員の仕事内容を理解する。</p>				
授業内容	回 01：自己管理能力① 02：協調行動力① 03：IT活用力① 04：自己管理能力②・協調行動力② 05：IT活用力②・職場能力検定レポート 06：講話 07：グループワーク① 08：基礎学習① 09：海外行動力① 10：コーチング① 11：コーチング② 12：コーチング③ 13：海外行動力② 14：協調行動力実践① 15：基礎学習②	回 16：グループワーク② 17：グループワーク③ 18：プレゼンテーション① 19：プレゼンテーション② 20：協調行動力実践② 21：職業学習① 22：職業学習② 23：公務員試験概論① 24：公務員試験概論② 25：公務員試験概論③ 26：公務員研究① 27：公務員研究② 28：公務員研究③ 29：公務員研究④ 30：基礎学習③			
テキスト参考文献	名古屋大原学園 自己管理能力検定テキスト・協調行動力検定テキスト・IT活用力検定テキスト・海外行動力検定テキスト				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	簿記 3 級基礎	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。</p> <p>【概要】 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 簿記一巡の流れを理解している。</p> <p>2. 基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。</p> <p>3. 小規模企業における財務諸表の作成ができる。</p>				
授業内容	回 01：簿記の目的 02：簿記一巡の流れ① 03：簿記一巡の流れ② 04：試算表 05：商品売買① 06：商品売買② 07：現金預金① 08：現金預金② 09：手形取引① 10：手形取引② 11：その他債権① 12：その他債権② 13：有形固定資産 14：総まとめ① 15：総まとめ②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	大原出版【日商簿記 3 級課程 商業簿記 テキスト】				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	指定された範囲の問題集				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	PC 実習基礎 I	授業形態	実習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Word の基本操作から文字入力、ビジネス文書の作成知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 Microsoft Word の機能や文書の作成に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. ビジネス文書の知識を習得し、Word の基本操作及び罫線を利用した表組みができる。</p> <p>2. 図表などで情報を表現し、状況にあったビジネス文書を作成できる。</p> <p>3. 職場での報告書を作成できる。</p>				
授業内容	回 01 : Word の基本操作 02 : ビジネス文書の基本ルール 03 : 社外文書の作成 04 : 社内文書の作成 05 : 様々な書式設定 06 : シンプルなレポートの作成 07 : 報告書の作成 08 : 表を使った文書の作成 09 : ワードアートを使った文書の作成 10 : 画像を使った文書の作成 11 : 図形を使った文書の作成 12 : SmartArt を使った文書の作成 13 : ビジネス文書の作成 1 14 : ビジネス文書の作成 2 15 : ビジネス文書の作成 3	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト参考文献	大原学園【パソコン実習】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	該当ページの確認				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	PC 実習基礎 II	授業形態	実習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Excel の基本操作から表計算、関数の活用、グラフの作成、データベースの活用知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 Microsoft Excel の機能や表計算に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. データ入力と計算式の作成及び表の作成、編集を行うことができる。</p> <p>2. グラフの作成と編集ができ、基本的な関数を利用することができる。</p> <p>3. 関数を使用して作業の効率化を図ることができる。</p>				
授業内容	回 01 : Excel の基本操作 02 : 数式について 03 : SUM 関数について 04 : 見やすく使いやすい表にする編集操作 05 : グラフの基本 06 : 目的に応じたグラフの作成と編集 07 : 複合グラフの作成 08 : 相対参照と絶対参照 09 : AVERAGE 関数について 10 : MAX・MIN 関数について 11 : COUNT 関数について 12 : ROUND 関数について 13 : IF 関数について 14 : IF 関数のネスト 15 : 集計表の作成	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト参考文献	大原学園【パソコン実習】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	該当ページの確認				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	職業実践VI	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通じて、視野の広い社会人の育成を目指す</p> <p>【概要】 特定の分野にこだわらず、様々な分野の講演を行う</p>				
到達目標	<p>学生個人の活動範囲の幅を広げる</p> <p>講演の中で興味を抱かせ、活動の動機作りを行う</p> <p>チャレンジ精神を持たせる</p>				
授業内容	回		回		
	01：職場における自分の役割①		16：		
	02：職場における自分の役割②		17：		
	03：暮らしとお金①		18：		
	04：暮らしとお金②		19：		
	05：暮らしとお金③		20：		
	06：暮らしと文化①		21：		
	07：暮らしと文化②		22：		
	08：コミュニケーションスキル実践①		23：		
	09：コミュニケーションスキル実践②		24：		
	10：日常生活と法①		25：		
	11：日常生活と法②		26：		
	12：日常生活と法③		27：		
	13：日常生活と法④		28：		
	14：日常生活と法⑤		29：		
	15：日常生活と法⑥		30：		
テキスト 参考文献	必要な資料は適時配布する				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	特になし				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	一般教養	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して就職試験（SPI）に必要な学力を養成する</p> <p>【概要】 SPI の問題を通して解法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>SPI の概要を知る</p> <p>SPI の言語分野を学習する</p> <p>SPI の非言語分野を学習する</p>				
授業内容	回		回		
	01 : SPI の概要及び言語分野、非言語分野「割合①」		16 :		
	02 : 非言語分野「割合②」		17 :		
	03 : 非言語分野「損益算①」		18 :		
	04 : 非言語分野「文章題」		19 :		
	05 : 非言語分野「損益算②」		20 :		
	06 : 非言語分野「濃度算」		21 :		
	07 : 非言語分野「年齢算」		22 :		
	08 : 非言語分野「速さ①」		23 :		
	09 : 非言語分野「速さ②」		24 :		
	10 : 非言語分野「速さ③」		25 :		
	11 : 非言語分野「速さ④」		26 :		
	12 : 非言語分野「確率」		27 :		
	13 : 非言語分野「集合」		28 :		
	14 : 非言語分野「推論」		29 :		
	15 : 非言語分野「ブラックボックス」		30 :		
テキスト	なし				
参考文献					
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	卒業実践研究	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 学生生活を通じて関心を持った事柄に対して、様々な媒体より情報収集を行い、テーマに対しての幅広い知識と自分の考えや意見を発表する。</p> <p>【概要】 情報収集、分析を行ったうえでスライド作成、発表を行う。</p>				
到達目標	1. 発表にふさわしい題材の選出 2. 社会人を意識したプレゼン発表 3. 見る側を意識したスライド作成				
授業内容	回 01：題材研究 1 02：題材研究 2 03：題材研究 3 04：原稿作成 1 05：原稿作成 2 06：原稿作成 3 07：原稿作成 4 08：スライド作成 1 09：スライド作成 2 10：スライド作成 3 11：スライド作成 4 12：スライド作成 5 13：発表練習 1 14：発表練習 2 15：研究発表	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	研究課題を事前検討				

Syllabus

行政法律科Ⅱ

行政法律科Ⅱ					
授業科目	社会科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して世の中の諸問題を学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p>【概要】 現代社会について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>社会理論や社会問題についての知識を身に付ける。 社会理論や社会問題について説明ができる。 現代社会に関する基礎的な分析力を身に付ける。</p>				
授業内容	回		回		
	01：社会集団・社会変動		16：		
	02：現代社会・パーソナリティ		17：		
	03：労働法規		18：		
	04：日本の労働状況		19：		
	05：社会保障制度		20：		
	06：社会保障の状況		21：		
	07：日本の環境問題		22：		
	08：地球環境問題		23：		
	09：国際社会と国際法		24：		
	10：国際機関		25：		
	11：国際情勢		26：		
	12：消費者保護		27：		
	13：医療・健康問題		28：		
	14：社会不安・教育問題		29：		
	15：科学技術・職業・農業		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 社会				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科Ⅱ

行政法律科Ⅱ					
授業科目	自然科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 地球や地球を取り巻く環境、宇宙について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>地球や地球を取り巻く環境、宇宙についての知識を見に付ける。 地球や地球を取り巻く環境について説明ができる。 科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：地球の形と内部構造 02：動く大地 03：地震 04：岩石 05：大気構造と地球の熱収支 06：雲と降雨 07：地球をめぐる大気 08：気象現象 09：日本の四季 10：海洋と海水 11：地球の運動 12：太陽系と惑星（1） 13：太陽系と惑星（2） 14：恒星の世界 15：地層の比較、地質年代と日本列島の変遷	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 テキスト 地学				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科 II					
授業科目	自然科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 物質とその変化について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 物質とその変化についての知識を身に付ける。 2. 物質とその変化について説明ができる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。</p>				
授業内容	回 01：周期表、物質の分類について 02：化学の基本法則、原子の構造 03：物質の量、化学結合 04：状態変化 05：気体の性質 06：液体の性質 07：コロイド 08：熱の種類、化学平衡 09：酸・塩基、中和 10：酸化還元 11：イオン化傾向 12：電気分解 13：無機化合物の性質 14：有機化合物の性質 15：生活環境の化学	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 テキスト 化学				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科Ⅱ

行政法律科Ⅱ					
授業科目	自然科学Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念や原理・法則を体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>物理学の基本的な概念や原理・法則を身に付ける。 物理学の基本的な概念や原理・法則を説明できる。 科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	回		回		
	01：運動の表現①		16：		
	02：運動の表現②		17：		
	03：力①		18：		
	04：力②		19：		
	05：力③		20：		
	06：運動方程式①		21：		
	07：運動方程式②		22：		
	08：エネルギー①		23：		
	09：エネルギー②		24：		
	10：運動量		25：		
	11：熱		26：		
	12：波動		27：		
	13：電気①		28：		
	14：電気②		29：		
	15：原子		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 テキスト 物理				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科Ⅱ

行政法律科Ⅱ					
授業科目	自然科学Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。</p> <p>【概要】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 数学の基本的な概念や原理・法則を身に付ける。 2. 数学の基本的な概念や原理・法則を説明できる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。</p>				
授業内容	回 01：数と式（展開、因数分解） 02：平方根 03：式の値 04：整式の除法 05：1次方程式 06：2次方程式 07：2次方程式の判別式 08：座標 09：1次関数 10：2次関数の式、最大値、最小値 11：2次関数の判別式 12：関数と図形 13：三角比 14：正弦定理・余弦定理 15：対数	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座【数学】				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科Ⅱ

行政法律科Ⅱ						
授業科目	応用数的処理Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択	
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期	
授業回数	15	実務家		時間数	30	
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して総合的かつ実践的な数的処理力を養う</p> <p>【概要】 応用的な数的処理の問題を利用して高度な数的処理力を錬成する</p>					
到達目標	<p>応用的な資料解釈を出題方法を知る</p> <p>応用的な資料解釈の解法を習得する</p> <p>応用的な資料解釈を発展的に理解する</p>					
授業内容	回 01：概算技術 02：実数① 03：実数② 04：単位あたり量 05：割合① 06：割合② 07：指数① 08：指数② 09：増加率① 10：増加率② 11：増加率③ 12：特殊な資料① 13：特殊な資料② 14：複数の資料① 15：複数の資料②		回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし					
成績基準	定期試験					
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。					

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	総合学習Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 資格に関する講義や講話などにより広範囲的な知識を学ぶ</p> <p>【概要】 資格の学習及び講話を通して基礎知識を習得する</p>				
到達目標	<p>危険物取扱者試験、世界遺産検定、秘書検定の基礎を学ぶ</p> <p>法律に関する基礎知識を学ぶ</p> <p>体育を通してストレス発散法を学ぶ</p>				
授業内容	回 01：危険物取扱者試験① 02：危険物取扱者試験② 03：世界遺産検定① 04：世界遺産検定② 05：秘書検定① 06：秘書検定② 07：法律基礎① 08：法律基礎② 09：法律基礎③ 10：法律基礎④ 11：法律基礎⑤ 12：法律基礎⑥ 13：体育① 14：体育② 15：職業講話	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	レポート				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	総合学習Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 体力トレーニングや救命講習を通して公安系公務員に必要な体力や知識を培う</p> <p>【概要】 体力トレーニングや救命講習の実施</p>				
到達目標	<p>公安系公務員に必要な体力を養う</p> <p>普通救命講習に合格する</p> <p>映像を通して公務員について知る</p>				
授業内容	回		回		
	01：体育①		16：		
	02：体育②		17：		
	03：体育③		18：		
	04：体育④		19：		
	05：体育⑤		20：		
	06：体育⑥		21：		
	07：救命講習①		22：		
	08：救命講習②		23：		
	09：救命講習③		24：		
	10：映像教育①		25：		
	11：映像教育②		26：		
	12：映像教育③		27：		
	13：映像教育④		28：		
	14：映像教育⑤		29：		
	15：映像教育⑥		30：		
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	レポート				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

行政法律科Ⅱ

行政法律科Ⅱ					
授業科目	職業実践Ⅰ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、法に興味関心を持ち法的思考力を身につける。</p> <p>【概要】 私生活と法のかかわりについて講義を中心に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 法とは何かを理解する。 2. 法の役割を理解する。 3. 法的思考力を身につける。</p>				
授業内容	回		回		
	01：法とは何か		16：		
	02：法の分類		17：		
	03：法の形式と機能		18：		
	04：日常生活と法の間わり1		19：		
	05：日常生活と法の間わり2		20：		
	06：日常生活と法の間わり3		21：		
	07：裁判と法1		22：		
	08：裁判と法2		23：		
	09：法解釈		24：		
	10：海外の法		25：		
	11：事例検討1		26：		
	12：事例検討2		27：		
	13：事例検討3		28：		
	14：事例検討4		29：		
	15：総まとめ		30：		
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	レポート				
準備学習の内容	特に無し				

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	職業実践Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、企業・官公庁における様々な職種を知り、自己の職業選択に役立てる。</p> <p>【概要】 公務員ガイドブックや就職ガイドブックを利用した講義</p>				
到達目標	<p>1. 公務員の職種を理解する。 2. 民間企業の業界、職種を理解する。 3. 就職斡旋規定を理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：就職斡旋規定 1 02：就職斡旋規定 2 03：公務員職種研究 1 04：公務員職種研究 2 05：公務員職種研究 3 06：公務員職種研究 4 07：企業業界説明 1 08：企業業界説明 2 09：企業業界説明 3 10：企業業界研究 11：活動準備 1 12：活動準備 2 13：活動準備 3 14：活動準備 4 15：官公庁・企業説明会</p>	<p>回</p> <p>16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：</p>			
テキスト参考文献	大原学園 【就職ガイドブック】【公務員ガイドブック】				
成績基準	レポート				
準備学習の内容	特に無し				

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	職業実践Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 公務員倫理規定等を学ぶ中で公務員制度、役割等を理解する。</p> <p>【概要】 公務員倫理規定を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 公務員制度の仕組みを理解する 2. 公務員の立場、役割を理解する 3. 志望官公庁や動機を明確にする</p>				
授業内容	回		回		
	01：公務員制度概要（国家公務員）		16：		
	02：公務員制度概要（地方公務員）		17：		
	03：行政機関とは		18：		
	04：勤務体系		19：		
	05：義務1		20：		
	06：義務2		21：		
	07：分限処分と懲戒処分の違い		22：		
	08：事例紹介1		23：		
	09：事例紹介2		24：		
	10：必要な資質、能力について		25：		
	11：公務員として働く責任		26：		
	12：市民との関わり		27：		
	13：制度改革歴史		28：		
	14：制度改革		29：		
	15：総まとめ		30：		
テキスト	特に無し				
参考文献					
成績基準	レポート				
準備学習の内容	特に無し				

Syllabus

行政法律科Ⅱ

授業科目	職業実践Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して自助力、共助力を身に付け、災害から自身と地域を守る人材になること。</p> <p>【概要】 防災に関する知識を習得し、災害から身を守る力を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. 災害、防災概論 2. 災害発生前の準備について 3. 災害発生時、発生後について</p>				
授業内容	回		回		
	01：自然的災害について		16：		
	02：人為的災害について		17：		
	03：社会的災害について		18：		
	04：自助、共助、公助について		19：		
	05：避難行動について		20：		
	06：地域の防災組織について		21：		
	07：被害想定、ハザードマップについて		22：		
	08：防災計画と企業防災について		23：		
	09：災害時派遣組織と内容について		24：		
	10：防災用品と家族防災会議について		25：		
	11：防災訓練について		26：		
	12：地震、津波、風水害、土砂、火災時の行動について		27：		
	13：救助活動について（ロープ、応急手当、活動手順）		29：		
	14：避難所での生活について（HUGを実施）		30：		
	15：総まとめと学習の活かし方（ICS）				
テキスト参考文献	公益財団法人日本ケアフィット共育機構 防災介助士資格取得講座テキスト				
成績基準	レポート				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を確認すること。				

Syllabus

行政法律科Ⅱ

行政法律科Ⅱ					
授業科目	職業実践Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、犯罪や事故から身を守る力を身に付ける。</p> <p>【概要】 刑法の基礎と防犯に関する知識を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. 刑法総論、窃盗罪の構成要件および窃盗罪等に関する防犯知識を身に付ける。</p> <p>2. グループワーク（プレゼンテーション作成）と、詐欺やインターネット犯罪、薬物事犯に関する知識と防犯知識を身に付ける。</p> <p>3. グループワーク（プレゼンテーション作成）と発表。</p>				
授業内容	回 01：刑法総論 02：刑法各論（窃盗、強盗、遺失物横領） 03：乗り物盗に関する防犯知識 04：ひったくり、侵入盗に関する防犯知識 05：グループワーク（プレゼンテーション作成）「テーマ 一定の予算で一戸建てに防犯措置をするなら」 06：プレゼンテーション発表 07：プレゼンテーション発表 08：刑法、特別法各論（詐欺、インターネット犯罪） 09：詐欺、インターネット犯罪に関する防犯知識 10：特別法（薬物事犯）道路交通法各論 11：薬物事犯、交通事故に対する防犯知識 12：グループワーク（プレゼンテーション作成）「7つの事例を元に、各グループで防犯知識のプレゼンテーション作成」 13：グループワーク（プレゼンテーション作成）「7つの事例を元に、各グループで防犯知識のプレゼンテーション作成」 14：プレゼンテーション発表 15：プレゼンテーション発表	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 刑法 ムック 防犯バイブル 2016				
成績基準	レポート				

準備学習の
内容

各回の授業の要点を整理し、内容を確認すること。

Syllabus

行政法律科Ⅱ

行政法律科Ⅱ					
授業科目	職業実践VI（法学概論）	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員及び実務家担当者 （ウサミハウス）	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通じて、視野の広い社会人の育成を目指す</p> <p>【概要】 特定の分野にこだわらず、様々な分野の講演を行う</p>				
到達目標	<p>学生個人の活動範囲の幅を広げる</p> <p>講演の中で興味を抱かせ、活動の動機作りを行う</p> <p>チャレンジ精神を持たせる</p>				
授業内容	回		回		
	01：職場における自分の役割①		16：		
	02：職場における自分の役割②		17：		
	03：暮らしとお金①		18：		
	04：暮らしとお金②		19：		
	05：暮らしとお金③		20：		
	06：暮らしと文化①		21：		
	07：暮らしと文化②		22：		
	08：コミュニケーションスキル実践①		23：		
	09：コミュニケーションスキル実践②		24：		
	10：日常生活と法①		25：		
	11：日常生活と法②		26：		
	12：日常生活と法③		27：		
	13：日常生活と法④		28：		
	14：日常生活と法⑤		29：		
	15：日常生活と法⑥		30：		
テキスト 参考文献	必要な資料は適時配布する				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

行政法律科Ⅱ					
授業科目	職業実践Ⅶ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 各自治体の取組内容を学ぶことでそれぞれの自治体がおかれている状況、課題を理解する。</p> <p>【概要】 各自治体の政策研究を行い、プレゼンテーションで発表する。</p>				
到達目標	<p>1. 政策研究を行い、自治体ごとの課題を知る</p> <p>2. 研究の中で得た知識を志望動機につなげる。</p> <p>3. 魅力的な政策をプレゼンテーションにて発表</p>				
授業内容	回		回		
	01：自治体の政策とは		16：		
	02：政策紹介 1		17：		
	03：政策紹介 2		18：		
	04：政策紹介 3		19：		
	05：政策研究 1		20：		
	06：政策研究 2		21：		
	07：政策研究 3		22：		
	08：スライド作成 1		23：		
	09：スライド作成 2		24：		
	10：スライド作成 3		25：		
	11：スライド作成 4		26：		
	12：発表準備 1		27：		
	13：発表準備 2		28：		
	14：発表準備 3		29：		
	15：研究発表		30：		
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	レポート				
準備学習の 内容	特に無し				